

皆様 こんにちは

昨日、小金井さくらロータリークラブさんの例会に本間幹事と二人で表敬訪問をさせていただきました。

黒田会長の本年度テーマは「狭」ということでした。

「おとこぎ」という意味とのお話で、黒田先生らしいなあと感じました。

また、前年度のマスク寄付に続き、非接触型の体温測定器を小金井市に寄贈されたたのお話で実行の速さに関心致しました。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、第2波への対応の準備が急がれます。

前回7月9日の例会で「zoom」の試行をさせていただきましたが、ホスト側の不慣れもあり、多くの改善が必要な点が見つかりました。

ただし、この後感染が拡大した場合は、全面的にズーム例会や委員会に移行せざるを得ない事態も十分想定されます。

対面式に慣れている身としては、息遣いや体温を感じられない、何とも味気ない雰囲気ではありますが、受け入れざるを得ません。

せめて最低限の繋がりを確保して、会員同士の意思疎通の手段を確保しておきたいという一念です。

受け止め方を変え、せっかくだからこの機会に「テレビ会議」などのスキルを身に着けて、今後の事業や自分の生活に役立ててやろうと考えていただければと思います。是非、会員全員のネットワーク参加をお願い致します。

会員の皆様にはご不便をお掛けすると思いますが、ご理解とご協力を賜りたいと思っています。

もう一つお話をさせていただきます。

先日、武蔵小金井駅の駅長さんから駅の乗降客数の推移を伺いました。

コロナ以前は、1日12万人強、4月3.5万人、6月半ばで7万人弱、最近8万人強といった数字だそうです。

今後も以前の数字に戻ることはないだろうとお話されておりました。

この数字をどう捉えるかですが、乗降なので半分と考え、約2万人の方が市内に留まられていることになります。

ベッドタウンで昼間人口が約半分(6万人)になってしまっていた市内に、2万人の人口増です。時間の過ごし方や生活、食事のニーズなど大きな変化が出ると考えます。

このような変化をプラス面ととらえ、自分達の事業や活動に活かしていけたら  
と思います。